

引用文献

- 秋葉まり子, 中島麻子. (2012). NPO法人の雇用創出力と多様就業対応型ワークシェアリングの可能性について; 青森県の事例分析. 弘前大学教育学部紀要, 107, 29-42.
- 千葉栄子, 桂晶子, 安齋由貴子. (2020). 子ども虐待ハイリスク家族に対する市町村保健師の関係機関との連携の取り組み. 日本公衆衛生看護学会誌, 9(1), 10-17.
- 出川聖尚子. (2018). 母子保健分野における地域住民組織に関する考察: 市町村の母子保健担当へのアンケートおよび聞き取り調査を中心に. 社会福祉研究所報, 46, 41-58.
- 藤高直之. (2016). 民生委員児童委員が担う子育て支援活動の効果についての考察—民生委員児童委員の子育てサロン活動を中心として—[博士論文]. [file:///C:/Users/ami09/Downloads/A39_text%20\(11\).pdf](file:///C:/Users/ami09/Downloads/A39_text%20(11).pdf), 1-50.
- 藤内修二. (2013). 平成 25 年度 健康安全・危機管理対策総合研究事業住民組織活動を通じたソーシャルキャピタルの醸成・活用の現状と課題報告書. 一般財団法人日本公衆衛生協会, 11-130.
- 深川光耀. (2017). 子育て世代の特徴からみた地域活動への参加と担い手としての可能性—真野まちづくりの継承を目的としたアンケート調査結果からの考察—. 立命館産業社会論集, 53(1), 171-190.
- 布花原明子, 畠中順子, 木村祥子. (2010). 「のびのび赤ちゃん訪問事業」における主任児童委員の役割. 保健師ジャーナル, 66(5), 466-473.
- 長谷川武史, 北由香里. (2017). 親の会の特性と第三者の介入効果. 名寄市立大学社会福祉学研究紀要, 6, 33-45.
- 林優子, 土田玲子, 玉井ふみ. (2011). 三原市の子育て支援体制整備にむけた地域における支援者の意識調査. 人間と科学, 11(1), 151-158.
- 平尾恭子, 田中静枝, 西井崇之, 室谷牧子, 津島和美, 濱田亜意子. . . 有馬美保. (2017). 乳児家庭全戸訪問事業における母子保健推進員の訪問活動の実態. 関西医療大学紀要, 11, 38-46.
- 本田光, 下地由美子, 仲宗根美佐子. (2010). 母子保健ボランティア組織による「乳児全戸家庭訪問事業」の活動実態とその充実感. 沖縄の小児保健, 37, 65-71.
- 本田光, 當山裕子, 宇座美代子. (2012). 母子保健推進員とのパートナーシップを構築する

- 保健師の技術—人口6万人規模の自治体における母子保健活動の実践を通して—。
日本看護科学会誌, 32(1), 12-20.
- 堀場純矢. (2011). 児童養護問題の地域性と主任児童委員の役割～地域分析と主任児童委員調査から～. 福祉研究, 102, 15-30.
- 堀口康太. (2019). 民生委員児童委員、主任児童委員による地域の支援を要する児童への見守りのプロセス. 子育て研究, 9, 15-30.
- 伊吹麻里, 中村歩美, 中野真希, 室谷絵里子, 河野益美, 柴田真理子. . . 中野博重. (2004). 核家族における乳幼児期の母親の育児不安. 藍野学院紀要, 18, 105-111.
- 井田歩美. (2013). わが国における「母親の育児困難感」概念分析 Rodgers の概念分析法を用いて. ヒューマンケア研究学会誌, 4(2), 23-30.
- 一般財団法人厚生労働統計協会. (2019). 国民衛生の動向・厚生指標 増刊 66(9) (pp110-112). 一般財団法人厚生労働統計協会.
- 金山時恵. (2016). 主任児童委員の子育て支援活動の現状と課題. インターナショナル nursing care research, 15(4), 107-113.
- 嘉陽正倫. (2011). 民生委員の現代的課題：地域福祉の担い手としての役割 [博士論文]. <http://petit.lib.yamaguchi-u.ac.jp/G0000006y2j2/metadata/DT0710054>, 82-87.
- 木村千里, 池田真弓, 園部真美. (2016). ケーススタディ：大学生、地域住民、自治体の協働による育児支援ボランティア活動：組織発達と活動メンバーの学びの検討. 日本保健医療福祉連携教育学会学術誌・保健医療福祉連携, 9(1), 10-20.
- 小石真子, 佐藤裕見子, 三浦康代. (2014). 子育て支援ボランティアの活動と世代間交流の実態について. 日本健康医学会雑誌, 23(2), 136-141.
- 厚生労働省. (2017). 平成28年度民生委員・児童委員の一斉改選結果について. <https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000148638.html>
- 小山修. (2006). 公衆衛生と地域組織活動その変遷と今後の展望. 公衆衛生, 70(1), 14-18.
- 松本亜樹子. (2017). NPO法人の運営におけるコーチングの効果について. 支援対話研究, 4, 63-74.
- 宮地さつき, 鈴木庸裕. (2008). 地域における子育て支援・児童虐待予防に関する調査研究 福島県における地区担当民生児童委員・主任児童委員へのアンケート調査より. 福島大学総合教育研究センター紀要, 4, 25-32.
- 内閣府. (2019). 子ども・子育て支援新制度について. <https://www8.cao.go.jp/shoushi/shi>

[nseido/outline/pdf/setsumei.pdf](https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/h26hopen/b2_04_03.html)

- 内閣府. (2014). 平成 26 年版子ども・若者白書（全体版）第 3 節 関係機関の機能強化 地域における多様な担い手の育成. https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/h26hopen/b2_04_03.html
- 尾島豊, 田中春海. (2016). ホームスタート（家庭訪問型子育て支援）におけるニーズの特徴. 長野県短期大学紀要, 71, 77-87.
- 大川健次郎, 平山宗宏. (2001). 愛育班活動の変遷と今後への期待. 日本保健福祉学会誌, 7 (2), 53-59.
- 大木秀一. (2013). 看護研究・看護実践の質を高める文献レビューのきほん (pp.73-85). 医歯薬出版株式会社.
- 大木秀一, 彦聖美. (2019). 多胎サークルの実態に関する全国調査 主催者による特徴の違いと保健行政機関からの支援に関して. 石川看護雑誌, 16, 1-11, 1-12.
- 大西良. (2016). 主任児童委員の子ども・子育て支援に関する実態調査：児童虐待事例への対応を中心に. 福岡県社会福祉士会研究誌. 9, 19-26.
- 忍正人, 工藤亜寿沙. (2013). 民生児童委員の現状と課題から今後の展望を考える－行政と住民の間に立つ民生児童委員活動の視点から－. 北海道地域福祉研究, 17, 65-80.
- 佐伯和子. (2015). 第 2 章公衆衛生看護の対象. 麻原きよみ, 佐伯和子, 荒木田美香子 (編), 公衆衛生看護学テキスト 第 1 巻公衆衛生看護学原論 (pp. 56-67). 医歯薬出版株式会社.
- 斉藤進, 高野陽, 小山修, 中村敬, 山口忍, 長坂典子. (2002). 地域母子保健・福祉の連携・支援体制のあり方に関する研究 保健福祉における住民組織活動の実態と連携に関する研究 (3). 日本子ども家庭総合研究所紀要, 39, 197-214.
- 佐藤美樹, 田高悦子, 有本梓. (2014). 都市部在住の乳幼児を持つ母親の孤独感に関連する要因 乳幼児の年齢集団別の検討. 日本公衆衛生雑誌, 61(3), 121-129.
- 佐藤紀子. (2012). 第 1 章発達段階の特性に応じた活動論. 宮崎美砂子, 北山三津子, 春山早苗, 田村須賀子 (編), 最新公衆衛生看護学 第 2 版各論 1 (pp26-32). 日本看護協会出版会.
- 佐藤優, 布花原明子. (2015). 乳児家庭全戸訪問事業に携わる主任児童委員の事業に対する必要性の認識. 日本公衆衛生雑誌, 62(11), 672-683.
- 妹尾香織. (2001). 援助行動における援助者の心理効果－研究の社会的背景と理論的枠組

- みー. 関西大学大学院人間科学, 55, 181-194.
- 妹尾香織, 高木修. (2003). 援助行動経験が援助者自身に与える効果：地域で活動するボランティアに見られる援助成果. 社会心理学研究, 18(2), 106-118.
- 杉田由加里, 石川麻衣. (2014). ソーシャル・キャピタルの醸成に資する保健ボランティアの活動に対する保健師の関わり. 文化看護学会誌, 6(1), 1-11.
- 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会. (2011). 知ろう・活かそう 地区組織～コミュニティワークの実際～ (pp.33-111). 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会.
- 社会福祉法人全国社会福祉協議会. (2019). 地域における児童委員・主任児童委員の活動等の現状と課題に関する調査研究 報告書 (概要版) . https://www.shakyo.or.jp/tsuite/jigyoo/research/20200507_jidouiinsummary.pdf
- 田口敦子, 村山洋史, 竹田香織, 伊藤海, 藤内修二. (2019). 地域保健に関わる住民組織の特徴と課題：全国市町村への調査. 日本公衆衛生学会誌, 66(11), 712-722.
- 高野陽, 齋藤幸子, 千葉良, 福本恵, 三橋美和, 榎本妙子. . . 野澤秀之. (2007). 子育て支援を目標とした地域母子保健活動の質的検討に関する研究. 日本子ども家庭総合研究所紀要, 43, 131-143.
- 谷川和昭. (2018). 民生委員・児童委員の活動実態と意識状況：赤穂市への若干の提言. 関西福祉大学研究紀要, 21, 109-121.
- 田尾雅夫. (2001). ボランティアを支える思想－超高齢社会とボランティアリズム－ (pp70-72). すずさわ書店.
- 當山裕子. (2012). 沖縄県内で活動する母子保健推進員の活動意識. 沖縄の小児保健, 39, 13-18.
- 鶴岡和幸, 部谷耕治, 栗川隆宏, 大藤文夫. (2011). 民生委員児童委員活動へのサポート (1) 大崎上島町と竹原市の民生委員児童委員調査から. 広島文化学園大学ネットワーク社会研究センター研究, 7, 23-38.
- 山田小織, 守田孝恵, 伊藤直子. (2010). 住民組織における保健師の支援内容とメンバーの活動意欲. 保健医療科学, 59(2), 159-168.
- 山口のり子, 尾形由起子, 樋口善之, 松浦賢長. (2013). 「子育ての社会化」についての研究 ソーシャル・キャピタルの視点を用いて. 日本公衆衛生雑誌, 60(2), 69-78.
- 山谷麻由美, 中尾八重子, 竹口和江. (2015). 住民との協働を基盤とした活動の保健師の行動意図に影響する要因の構造. 看護研究, 48(4), 386-401.

山崎丈夫. (2006). 地域コミュニティ論 地方分権への協働の構図 (pp86-87). 自治体研究社.

全国民生委員児童委員連合会. (2019). 報道資料 12月に全国一斉改選！「民生委員・児童委員」の担い手発掘へ！全国1万人にイメージ調査実施. <https://www2.shakyo.or.jp/wp-content/uploads/2019/03/386f648a162f2017b534959002a28858.pdf>

謝辞

本研究すべての過程において多くの方々にご指導いただき、心より感謝申し上げます。

本研究の指導担当していただきました、浦口真奈美先生には、研究のすべての過程を通してご指導していただき、深く感謝申し上げます。執筆中に心が折れそうになった際には、励ましのお言葉を掛けていただき、最後まで粘り強く取り組むことができました。

また、麻原きよみ教授、小林真朝准教授、江川優子先生、河本秋子先生には、研究だけでなく様々な講義、演習、実習の場面で数多くのご指導や励ましのお言葉をいただき心より感謝いたします。

そして大学院では、同領域の10名や他領域の皆さまと同級生として大変貴重な時間を過ごさせていただきました。特に同領域の10名は、研究だけでなく実習や課題にともに取り組むなかで、数多くのグループワークを行う機会に恵まれ、刺激ある環境で学びを深めることができ、大変貴重で忘れがたい経験をさせていただきました。

本研究を通して、子育て支援を行う住民組織の活動の活性化には様々な要因が関連していることを学び、私の知らないことが数多くあることを改めて痛感しました。また、支援者として活動する住民の方が様々な思いをもって活動に携わっていることに、文献を通して触れることで力づけられました。保健師として、本研究で得られた知見を活かしながら地域の方とともに、つながりや支えあいのある地域づくりに向けた活動を行いたいと考えます。そこでは、多くの方との出会いに感謝し、人としてもさらに成長し続けたいと思います。

最後に、聖路加国際大学に入学する前から大学院に進学することを認め、そして支えてくれた母と祖母に心から感謝申し上げます。

2021年1月30日

聖路加国際大学大学院 修士課程2年